

令和2年3月25日

## 令和二年度新学期の開始について（緊急のお知らせと情報共有）

豊田工業高等専門学校長

田川智彦

まず重要なお知らせです

**令和二年度の新学期を2週間程度遅らせて開始します。  
併せて、寮については入寮生を大幅に制限して開寮します。**

つきましては、これまでホームページ等で周知しておりました新学期行事の日程はすべてキャンセルといたします。入学式を含め、新しい日程は決定次第公開いたします。また、新年度に向けた入寮許可も一旦取り消しにいたします。再度、入寮選考を行い結果は速やかに通知させていただきます。

以下、緊急の判断に至った経緯について情報共有させていただきます。

本校では2月21日以来危機管理室を立ち上げ、学校の運営を行ってまいりました。基本的には、学生の皆さんやその家族、本校教職員やその家族の健康と安心を最優先に、命を守るための国の方針に従いつつ地域の状況を加味して判断をすることとしました。2月28日の首相の全国一斉休校の要請を受け2月29日以降臨時休校として、ほとんどの行事・活動を制限してきました。その後の国の方針は、3月19日の専門家会議の結論を受けて発出される予定のため、それまでは予定通りの日程で新学期を迎える準備を進めてきたところです。

一方、3月24日に文部科学省から教育活動の再開についての通知が発出され、3条件への配慮の徹底と地域の実情の考慮が求められました。同日夕刻には国立高等専門学校機構から理事長名で同様の内容の通知が発出されました。それによれば、2月28日理事長発出の「原則として閉寮とする」判断を変更する記述はなく、新学期は原則閉寮の状態を迎えざるを得ない状況となりました。本校の寮運営の状況からも現状のままでは文部科学省のガイドラインに示された集団感染発生リスクを避けるための対応を完全に実施することは困難です。とはいえ、外国人留学生や実家が遠方の学生の入寮を認めないと新学期は開始できません。そこで、やむを得ない学生に限り入寮を認め、大幅な制限の下でリスク回避の対応を最大限行いつつ開寮することといたしました。

さらに、本校が長期留学を委託しております AFS と YFU から 2019 年度中に出発の全留学プログラムを中止し、渡航中の留学生を速やかに帰国させる旨の通知を受けました。また、帰省中の外国人留学生や、春季休業中に海外旅行に出かけた学生も新学期に向けて帰国することから、始業までに2週間程度の経過観察を行う必要も出てまいりました。

こうした状況を総合的に判断し、本科については臨時休校をさらに2週間程度延長することで、授業開始を遅らせ、入寮生の再選考や年度当初のスケジュールの再編、帰国者の経過観察などを行うことといたしました。

すでに入寮許可を受け取った学生の皆さんにはこれを一旦取り消すこととなります。また、新入生の皆さんには、学校説明会等で寮のすばらしさをお伝えし、新入生は希望すれば全て入寮できる旨申し上げたことを結果的に翻すこととなります。また、急な日程変更で入学式に向けて日程調整いただいた保護者の皆様にもご迷惑をおかけする結果となってしまいました。このような、ご迷惑や混乱を招く結果となり心よりお詫び申し上げます。一方で、世界中が緊急事態を宣言する中で、学生やご家族の皆様の健康・安心・安全を担保し、結果的に命を守るためのやむをえない危機管理上の措置としてご理解賜り、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

本通知以降のスケジュールや入寮選考結果は決まり次第、速やかにお知らせいたします。一斉メール（在校生）やホームページの情報をこまめにチェックしていただくよう、併せてお願い申し上げます。